

広報

SHOBARA the public information magazine

しようばら

10

2015 / October
No.127

いちばん赤いの
どれかな？

実りの秋。市内各地でりんごの収穫が最盛期を迎えています。



2 特集 平成 27 年度市政懇談会

- 10 比婆いざなみ街道物語
- 12 住民告知放送が始まります！
- 13 シリーズ マイナンバー制度
- 14 行政相談週間
- 15 浄化槽の適正な維持管理を／母子保健だより

- 16 シリーズ障害を知り、共に生きる
／安心安全な毎日のために
- 17 健康広場
- 18 市民のページ
- 20 市政トピックス
- 22 カメラレポート
- 24 お知らせ

という話になるが、そういうことではないと思う。期待している。

Q 庄原市の魅力づくりが先では中国やまなみ街道の用地買収時、立ち退かれた人

A 決して地域を切り捨てるわけではない。いかに高齢者の方にこの地に暮らしていただき、生涯を元気に暮らしてもらえるかを基本的に検討を進めている。皆さんに喜んでいただける地域特性に合ったコンパクトシティを進めていきたい。

が次の居住地を求められたのは、便利の良い三次市がほとんどだ。庄原市に魅力がないとコンパクトシティは成り立たないのでは。

A 生まれ育った地域の近くに住みたいという高齢者の希望もある。人口の減少をくい止め、ここで住み続けたという皆さんの声にこたえるため、まちづくりを皆さんと考えていきたい。

Q 耐震構造でない施設は不安
廃校など既存の施設を利用すると、耐震構造

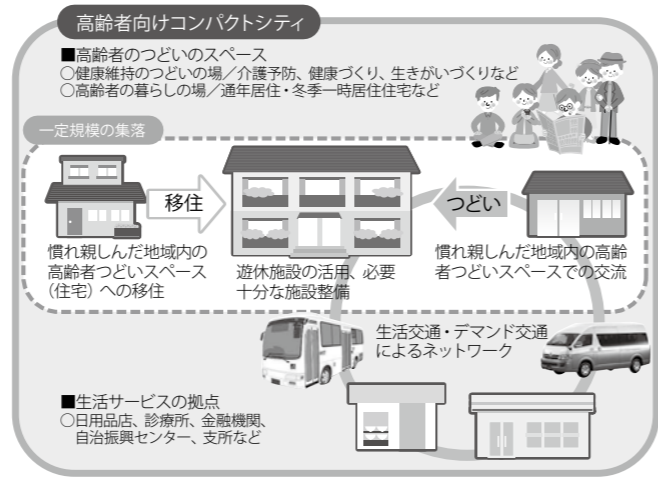
造でないものばかりだとと思う。災害が起きた時の避難場所にもなるのに、そんな不安定なところをサービスや宿泊施設として活用しても大丈夫なのか。

A 耐震改修促進法で、一定規模の施設については診断・改修が義務付けられているので、そうした施設は順次診断、改修を行っていく。

Q 宅老事業の実施に支援を
総領自治振興区では、総領中学校の元寄宿舎を利用して宅老事業を進めていきたいと考えている。介護保険法の改正が行われる平成29年4月には、そこが使える状態にしたい。皆さんと一緒にこのコンパクトシティが良い方向になるように取り組んでいきたい。ぜひご支援をお願いする。

A 提案されたことについて参考させていただき、一緒に取り組みたいと思っっている。10年先、20年先を見つめ、地域を維持することで、地元をあきらめ市外に出て行くという流れを防ぎたい。当面、何地域かでモデル的に取り組みたいと考えている。

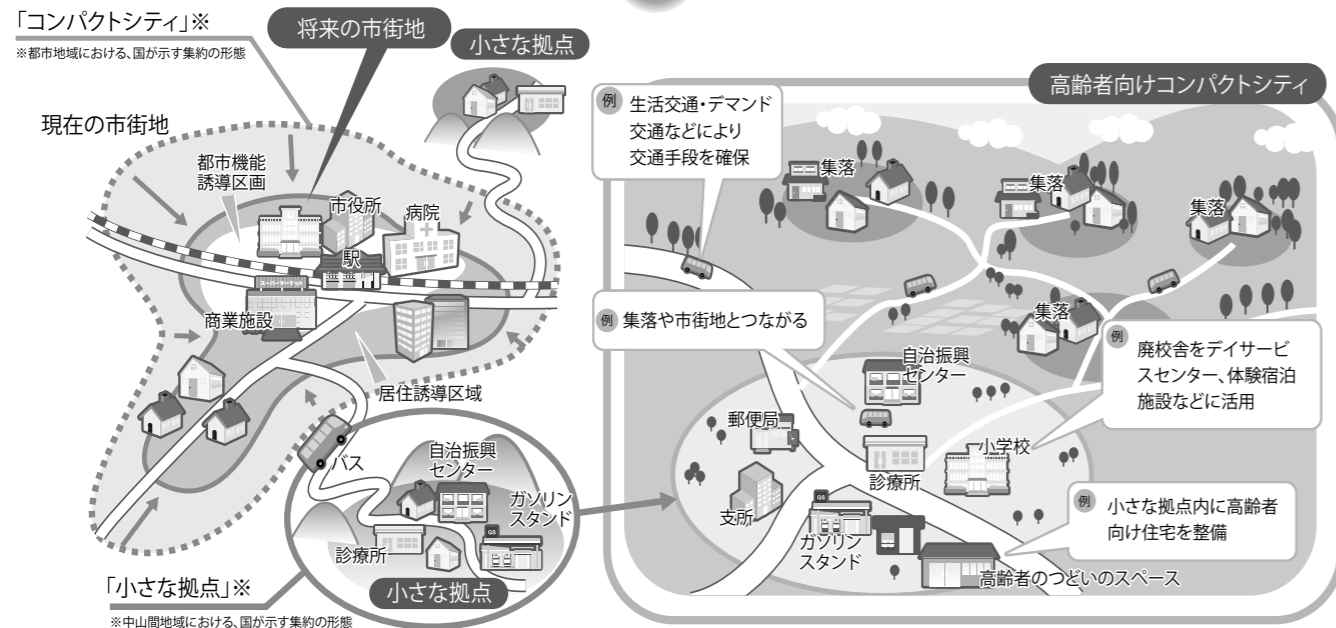
■「高齢者向けコンパクトシティ」のイメージ 図1



高齢者向けコンパクトシティ
一定規模の集落ごとに、高齢者向け住宅(※)や集いの場(高齢者のつどいのスペース)を整え、その集落と小さな拠点をつなげることで、将来にわたり住み慣れた地での生活が可能となる仕組みのこと。

※高齢者向け住宅…段差がなく、手すりなどの付いた住宅で、高齢者が自立して生活できる、高齢者の方専用の賃貸住宅のこと。

図2 近い将来での「高齢者向けコンパクトシティ」のイメージ



平成27年度

市政懇談会

特集

市が行う政策や事業に対し、市民の皆さんからご意見を伺う市政懇談会を7月24日から9月8日までの間、市内9会場で開催しました。

各自治振興区や自治会の代表者のほか、一般参加者を含め延べ401人(庄原166・西城50・東城68・口和41・高野17・比和30・総領29)が参加しました。

今回も共通テーマと地域テーマを設定する形式で行いました。共通テーマとして「第2期庄原いちばん基本計画(以下、『いちばん計画』)について」を設定し、この計画の概要と分野別政策のうち「暮らしの安心」のいちばんに掲げる新たな事業「高齢者向けコンパクトシティ(図1)の検討」について説明しました。地域テーマは地域ごとで設定し、それぞれの地域で活発な懇談・意見交換が行われました。その一部を抜粋してお知らせします。

今回寄せられた提案や意見などは協議検討を進め、今後の市政運営に生かしていきます。



共通テーマ

第2期庄原いちばん基本計画について

高齢者向けコンパクトシティに関すること

いちばん計画との関係性は

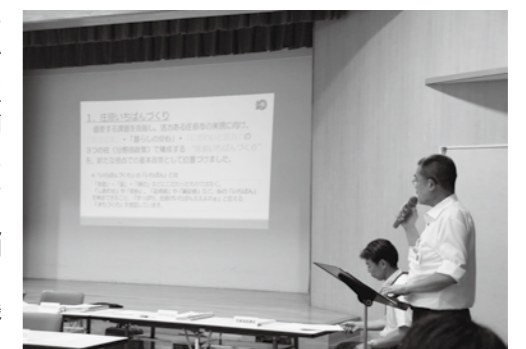
Q いちばん計画と言いながら、いきなりコンパクトシティという話が出てきた。いちばん計画にコンパクトシティがどのように関係するのか少し理解に苦しむ。

A 第2期いちばん計画の着眼点として「生活の安心」と「地域資源の活用」の2つを挙げた。コンパクトシティは安心を感じることでできる生活環境の集約化ということで、今後の超高齢社会への対応のひとつとして特に着目して説明を申し上げた。

どこに重点を置き実施するか

Q コンパクトシティの近い将来(図2に示すイメージ)とは、どこを重点にしているのか。

A 近い将来とはすぐに単年で全域で行うということ



いちばん計画について説明する職員

でなく、地区によりニーズが違うので、当面、何地域かでのモデル的な実施を考えている。最終的に全域で整備する考えである。

Q 心強い施策として期待したい
高齢者向けのコンパクトシティ着手については、非常に心強く敬意を表する。えてして、田舎を捨てるのか



自主防災組織育成研修会の様子

地域産業のいちばんに
関すること

比婆牛の取り組みの強化を

Q 比婆牛の増頭支援では、和牛飼育農家に1頭増頭をお願いし、ホルスタイン牛には、和牛から採卵した受精卵の移植を、スピード化し取り組んで行くことを考えたかどうか。

A この取り組みには子牛の生産が必要であり、広島県種雄牛の人工授精、受精卵移植の取り組みを進めている。市内には1頭〜3頭飼いの農家が多いが、高齢者が多くさらに増頭していくのは非常に困難である。

これまで和牛振興に関する補助は市の補助金だけだった



比婆牛の振興

が、本年度、県が和牛飼育を始める方や地域ブランド牛の取り組み拡大を行う方に、畜舎の建設や牛を導入するための支援事業を創設した。今年繁殖農家で50頭を飼育している方がこの補助事業を活用し、さらに30頭増やす計画である。

少数飼育農家の維持と、増頭できる方の拡大支援の両方をしっかりと取り組んでいく。

価値の出る山林整備を

Q 「林産資源」の記述があるが、項目にはなく触れられていないのは物足りない。山林の価値が無いのは木自体の価値が無いのもあるが、小さな区域で区切られた山がたくさんあり、現在は境も分からない状態だ。山林版ほ場整備をして大きな区域にして活用すれば、もっと価値が出るのではないか。

A 森林整備加速化事業といたった県や国の補助金を活用しながら、森林の基盤整備に努めている。森林組合を中心に森林経営計画をつくり、まとまりのある区域で間伐などを行っている。継続して豊富にある林業資源の活用



箱わなで捕獲されたイノシシ

を図っていききたい。

ジビエの産業化を

Q 有害鳥獣対策の強化が掲げられているが、これだけ過疎が進み、田や山が荒れれば、イノシシが出てくることは必然である。フェンスの設置をすすめるだけでは、基本的な対策にならない。

例えば、ジビエの産業化が全国的には進んでいる。食肉加工できる環境を整備して産業を興せば、そこで働く人や狩猟者の確保が必要になり、それを支えるマーケットも潤うのでは。

A ジビエについては、廃校で使われなくなった調理場を改造して活用したらどうかという提案をいただいたこ

ともあり、検討を行ってきているが、現在そうした施設を整備するという結論には至っていない。

暮らしの安心のいちばんに
関すること

庄原赤十字病院の産科再開の
めどは

Q 庄原赤十字病院の産科再開の話が出てから長い時間が経っている。これについての見通しは。

A 県などに対し産科再開に向け絶え間なく働きかけている。本年4月から産科がほぼ再開できるという話を県からいただいたが、人員確保のめどが立たず再開はかなわなかった。引き続き産科の再開に向け努力していきたい。

高齢者が元気で暮らせる取り
組みを

Q 高齢者になってもいかに元気で病気になるか考えていく必要がある。高額な医療費を少なくするためにも自治振興区と連携して考えてほしい。

A 一番大事なのは、自分の健康は自分で守るとい

こと。介護予防に努めると共に、介護が必要になったときや病気になるような地域で支えられるような取り組みを進めていきたい。

看板設置より防災組織の活動
支援を

Q 地域防災の推進に「避難所表示看板の整備等」とある。避難所表示よりも、地域防災組織の立ち上げやその活動支援をすることが優先ではないか。

A 防災対策としては、地域の自主防災組織による訓練が一番身近で効果があり、ハード面の整備よりも重要と考える。訓練では、設置した看板で避難所の場所を改めて意識していただくことにもな

るので、看板の設置は市の責務と考えている。

避難所の機能の検証を

Q 昨年度避難勧告が出たが、避難所が開いていなかった。まず避難所がきちんと機能するのかわるか検証した上で、防災の写真を描く必要があるのでは。

A 避難所の件は非常に申し訳なかった。避難勧告は、それぞれの避難場所に職員が待機し、鍵を開けているものとして発令した。昨年の反省を踏まえ、ご指摘の問題を解消できるように市としても万全の体制をとりた

介護保険法改正で自治振興区
の役割はどうか

Q 介護保険サービスが要介護度の低い人に適用されなくなると、地域力が試されることになるが、自治振興区が果たす役割について、どの段階で明確に示していただければいいか。

A 今回、介護保険法が大きく改正され、数年後には、介護給付事業の一部が、市独自で取り組む地域支援事業となる。その中では地域の力が今以上に必要になってくる。



再開発が進む備後庄原駅前

自治振興区の担う役割について、具体的な内容や時期は示せないが、今ある地域資源の中で何ができるのか考えていただき、市としてもそれを支援していききたい。これからの「地域包括支援ケアシステム」の充実に向けた取り組みに、引き続きご協力をお願いしたい。

にぎわいと活力のいちばん
に
関すること

だれもが住みたいと思える庄
原市を

Q 空き家の解消に向け自治振興区でも動いているが、極めて経費のかかる仕事である。それでも今やらなければならぬという気持ちで

取り組みたい。市も定住対策に対する予算を充実させ、住みたいと思わせる元気で特徴のあるまちづくりを進めてほしい。

入り込み客増につながる駅前
整備を

Q 備後庄原駅前の整備は、国営備北丘陵公園へのアクセスを良くして、観光集客を増やすことが当初の目標だったと思う。先般の新聞記事に予算がつかないといった内容が掲載されていたが、早期に完成させて市の玄関口として活用を図ってほしい。

A 駅前は備北交通バスと芸備線鉄道の結節点になっている。現在、駅舎に観光案内に関する機能というものが無いので、観光客を市内の施設にスムーズに誘導できるように、駅舎の改修に併せて案内機能を整備していきたい。



地域テーマ

総領会場／7月24日
総領自治振興センター
「子ども事業の取り組みについて」

子ども事業について意見を

Q 昨年度から、地域振興計画に掲げる安心安全のまちづくりを具体化していくために、福祉・教育・定住の3つのプロジェクトをスタートした。その中の教育プロジェクト(子ども事業)について、活動の方針や自治振興区のあり方など、行政との協働、補完の視点から意見を求める。

A 地域を支えて動かすエンジンとなるのは教育であり、その根幹となるのは人づくり。いかにして子どもたちを育てていくかが私たちの使命だと思ふ。そういったことから、大変素晴らしい企画をされ、実際に取り組んでおられると思うし、課題を分析されていることも素晴らしい。学校、地域、家庭が一緒になって子どもを育てようという積極的取り組みがなされており、これからも地域で力を合わせて取り組んでいただければと思う。



事業に活用できる財源を教えてください

Q 子ども事業は活動促進事業補助金を財源としているが、この事業を続けていくのに何か財源があれば教えてください。

A 活用できる国や県の補助金がないか調べている。良い補助事業があればお知らせしていきたい。



放課後塾で数学を学ぶ中学生

庄原(高・本村・峰田・敷信・北)会場／7月27日
庄原市ふれあいセンター
「各自治振興センターの事務室および駐車場等を含む不足設備の拡充整備と再整備の早期実施について」

●高自治振興区

事務室の拡幅をしてほしい

Q 事務室が手狭で、図書室を事務室にという検討をしていたが、図書室というのはこの振興センターでは中核的な部屋である。生涯学習の場所として利用される団体が多く、会議で使用することが多い。ここを事務室にすると会議できる場所が無くなり、活動場所も2階に限られるため、高齢者の方が利用するに



●本村自治振興区

緊急避難場所にふさわしい整備を

Q 現在の自治振興センターは元小学校を利用していているが、緊急時の避難場所になっているがそれに対応できるような整備してほしい。

A 現在利用していない2階の空き教室を避難場所として利用できるような整備してほしいとの要望であるが、建



高自治振興センター

●峰田自治振興区

駐車場を拡幅してほしい

Q 自治振興センターの駐車場が狭く、急な坂があるので出入りも不便である。駐車場を拡幅し、利用しやすいものにしてほしい。

A 新たに用地を取得して整備すると時間と経費がかかってくる。地元の皆さんの協力が必要であり、振興区の皆さんと話をさせてもらいながら進めていきたい。

●敷信自治振興区

ふれあい広場にトイレ整備を

Q 現在の自治振興センターは、会議や研修室など住



民が使う会場のほとんどが2階にあり、高齢者の利用が難しい。JAの建物の一角を借り、敷信区民ふれあい広場として1階を整備して使っているが、トイレがなく不便だ。

●北自治振興区

施設利用する障害者への対応を

Q 現在会議室は2階にあるが、身障者の方が2階に上るのは困難だ。階段を上れる車椅子があると聞いているので、市がリースするなどの手段を準備していただければ、いかなる人が役員になられても十分対応できるし、安心もできるので検討をお願いします。



●庄原(東・山内)会場／8月3日

東自治振興センター

「高速通信網(告知システム) 停電時の緊急通報体制はどうするか」

Q 告知システムは停電時に作動しないと聞いている。必要な時に作動しない可能性があるため、停電時の対策を示してほしい。

A 今回整備する告知端末には、市から1時間ごとに信号を送り、その返信を受けられることによって通信状態を確

いしたい。
A 他の自治振興区でも同様の状況だと思うので、どういった方法が可能なのか調査検討したい。



住民告知端末

認する機能がついており、停電などで通信が途絶えたことを把握することができる。該当地域には広報車などによる重点的な巡回広報の実施を考えている。

口和会場／8月5日
口和自治振興センター
「中国やまなみ街道を利用した地域の活性化について」

●観光施設の充実を図ってほしい

Q 中国やまなみ街道の全線開通で口和ICの利用は増えているが、入り込み客増にはつながっていない。口和地域の観光施設の充実を図るべきではないか。

A モーモー物産館の課題について考え方を述べる。



モーモー物産館

モーモー物産館は、名前を付けている口和地域の思いが込められた建物だ。モーモー祭もあり、過去優秀な比婆牛を非常に多く輩出した地域で、比婆牛に対する思いを強く感じられる。一つの視点として牛にこだわった施設づくりに取り組むべきでは。

●モーモー物産館にトイレの増設を

Q モーモー物産館はトイレが少ないので、観光バスが入ってこない。行政がトイレを増設するため来年の予算に計上すれば物産館は喜ぶ。そういう答えがほしい。

A トイレを増設するだけで集客ができるなら約束を



して帰りたい。しかし、そうではなく皆さんと一緒にこの口和の宝を生かしていくためにどうするのか、その一つの切り口としてモーモー物産館のあり方も一緒に考えたい。

高野会場／8月11日
上高自治振興センター
「農業振興による活性化について」

●農家の意識が変わってきた

Q 道の駅が出来てからは、農家が自分の作った農作物に値段を付けて売れる仕組みができた。これまでは、損得度外視という農業だったが、採算がとれるように値段を設定し販売されており、農家の姿が変わりつつあると感じる。



A 公社の運営に対しては、心配をおかけしている。現在は農作業の受託一本に絞

Q 農林振興公社の対策は
A 比和は地形的に集落営農や法人化は難しく、合併前に比和町農林業公社を作った経緯がある。現在、公社への依存度はますます高くなっている。しかしながら、若い職員が次々とやめていく状況があるので、若者の定住施策とあわせ人材育成を進めていきたい。公社の看板が比和町時代のままなので新しい看板の設置を。

比和会場／8月27日
比和自治振興センター
「人口減少時代における農地の保全について」

個別の施策を考えていきたい。



Q 価格設定の指導をすべきでは
A 県立の高校や大学で生産されたものが道の駅で安価で売られている。それを基準に農家が値段を安く設定せざるを得ないという問題がある。市から価格設定の指導があってもよいのではない

A 高野地域は自ら作ったものの価値をしっかりと見極めていく。その中で「価格が高い」という評価はあるが、それは「地域で作っているような店は安いだろう」というイメージがあるからであろう。(百円市のイメージ)だが、今は「良いものだから高い。高くても当たり前だ」という店や消費者が増えて、農家の皆さんも変わってきているので大いに自信をもってほしい。



にぎわう道の駅たかの

A この問題は、道の駅たかので商品を売るときの方法の問題だと思ふ。農家で作ったものと、研究・研修で作ったものの商品の違いを理解してもらえ表示方法を検討したい。

海外出荷に対する支援を

Q 青森のりんご、鳥取の梨、和歌山のみかんは海外へ出荷され、主に中国、韓国の富裕層が消費しているようだ。中国の富裕層の数は日本の人口に匹敵し、高値でも売れている。よって、そういった売り込みについて、しっかりと支援してほしい。

A ご紹介の事例は、自県で消費する量よりもはるかに多い量を生産しており、生産量と消費とのバランスをみて輸出という方法を選んでい

西城会場／9月3日
ウイール西城
「エネルギーの自給と雇用の拡大」
小型ガス発電所でエネルギー

A 現在、庄原市農業振興計画を策定し、営農集団の代表も委員として入ってもらっている。この中でどんな支援が必要か提示いただくようお願いしたい。

Q 営農集団を活用して、地域のにぎわいができるような取り組みを進めていただきたい。

A 現在、庄原市農業振興計画を策定し、営農集団の代表も委員として入ってもらっている。この中でどんな支援が必要か提示いただくようお願いしたい。



Q ギーの自給を
A 木を蒸してガスを発生させ、そのガスで発電タービンを回し電気を生み出す「ガス発電」施設を集落単位で設置し、エネルギーを自給することを提案する。これによって、新たな雇用機会が生まれ、移住者の増も期待できる。

A ご提案の事業は、市の直営による事業実施は難しいと判断しており、民間企業や団体の事業化支援に限定されるものと考えている。現段階で企業や団体などから具体的な提案、支援の要望などはないが、今後の動向を注視していく。



庄原自治振興センター

東城会場／8月26日
東城支所
「人口減少社会における農山村の活性化について―田園回帰の定着に向けて―」



る。中国、韓国での購入価格は高いが、いろんな流通経路をたどっているため、生産者の価格は国内販売価格とほぼ同じになっているのが現状。庄原市でも海外への輸出も検討しているが、県内需要にも対応できていない商品が多い。また、輸出する相手国によってルートが決まっており、現状でそのルートに入ることは難しい。特に高野ではトマトが高い評価を受けており近畿圏で売れているので、まずは今の販路を大切にしていきたい。



古民家を改修し、庄原暮らしを楽しむ人

市独自のライフスタイルの提案を

Q 庄原市に住みたいと思わせる情報提供が必要で、収入が減っても生活ができるライフスタイルの提案も重要である。ちよつとした農業体験や定住フェアなどの情報提供が移住を真剣に考えるきっかけとなる。長期滞在が試せる制度を創設してみてもどうか。

A 本年度の新たな事業が3つある。一つは「里山スタイル新生活創造事業」。庄原市にある資源や環境を活用した庄原らしいライフスタイルを広く都市部などへ情報発信する。二つは、定住を考えている方、定住しようとする方が安心して定住するための相談役支援員として新たに「移住定住コンシェルジュ」を



庄原(庄原)会場／9月8日
庄原市民会館
「自治振興センターの建設・整備および大規模改修について」

Q 要望に対する回答を
A 昨年9月11日付で、今回のテーマと同様の要望書を提出している。提出から1年が経過しようとしているが、市の基本的な方針や事業計画的なものは、いまだ回答がない。区民が納得できるセンター施設の整備や基本的な方針の回答をお願いしたい。

A 自治振興センターは市民会館と一体的な建物なので、市民会館の今後のあり方など総合的に判断する必要がある。市民会館の整備と併せて、どのような整備を今後

設置。三つは、「しようばら生活体験施設整備支援事業」。自治振興区に事業主体になってもらい、いわゆる「お試し暮らし」に必要な施設を整備(空き家の借り上げや改修)して、転入希望者に事前に庄原での生活を実体験してもらおう。引き続き、転入定住の促進に努めていく。

Q 市の特徴を生かした施策を
A 定住は浪漫だけでは進まない。新しい暮らしを具体的な仕組みとして示す必要がある。庄原市の資源を最大限に活用し、特色ある庄原市にしかできない施策を期待する。

A 対象者を限定して、今暮らしている方、庄原を古里とする方、新規転入希望者の各ニーズを分析しながら、



行っていくか検討しているが、現時点で自治振興センターの具体的な整備の内容をご説明することが難しい状況である。

いつ整備内容を提示できるのか

Q 市民会館の改築とは切り離して自治振興区の施設整備を図っていただきたい。整備内容の基本的な考え方を、いつまでに提示いただけるのかを確認したい。

A 長期総合計画の中の実施計画前期5年分(28年度〜32年度)を年内にまとめる。具体的には申し上げられないが、12月にははっきりした形を示せるのではないかと考えている。



比婆

いざなみ街道

物語

「庄原市北部資源活用計画」策定

企画課政策推進係
☎ 0824-73-1112

市は、本市の北西部と南東部を結ぶ道路を「比婆いざなみ街道」と命名し、その道路機能と周辺の地域資源を生かし、観光振興やにぎわい創出、交流・定住の促進を目的にした「比婆いざなみ街道物語（庄原市北部資源活用計画）」を策定しました。

この計画では、街道沿線の多様な資源をつないで一体的な地域ブランドとして発信し、地域資源の認知度向上と観光客の増加、地域経済の活性化を図ります。

※計画の全文は、市のホームページをご覧ください。



『いざなみ』とは？
日本神話に登場する女神「伊邪那美命（いざなみのみこと）」と伊邪那美命の2人の男女の神が日本を作り、多くの神様を生み育てたと記されている。亡くなった伊邪那美命が、出雲国（島根県）と伯耆国（鳥取県）の境にある比婆山に葬られたとあり、山頂の巨石がある場所が、伊邪那美命の墳墓（御陵）と語り継がれている。

県内随一の巨杉群に囲まれた社叢（しゃそう）で知られる熊野神社は、比婆山御陵を神体山（しんたいさん）とする南麓の遷拝所として、古くから厚い信仰の対象となっている。ちなみに熊野神社は、高野ICから東城ICを結ぶまでの路線区間61.4kmのほぼ中間地点に位置する。

- 計画の対象期間
平成28年度～37年度までの10年間
- 計画の内容（第1期計画）
 - 資源の発掘と磨き上げ
多様な地域資源に関し、庄原のこだわりという視点をもった宝探し（発掘）と磨き上げに取り組み、全国に情報を発信します。
 - 比婆山・熊野神社の解説書作成
 - 現地ガイドの養成
 - 案内標識と説明看板の設置 など
- 新たな景観形成
自然景観の魅力をさらに高めるための整備や、新たな景観形成に取り組みます。
- 桜などの花木の植樹
- 沿線の森林整備 など
- 熊野農産物加工施設（イザナミ茶屋）の整備
- 比婆いざなみ街道への誘導
比婆いざなみ街道の利便性・快適性の向上に向け、関係機関との協議・調整に努めます。また、観光目的に応じたコース設定、プロモーション事業などで積極的な誘導に取り組みます。
- 道路案内標識の設置
- のぼり、ドライブマップの作成 など

計画を進める上での基本的な考え方

STEP 1 知（しる）
まずは、多様な資源の存在や価値を「市民が知ること」が大切です。次に、その情報を市外・県外に発信して「広島県の北部に、こんな場所・こんな歴史・こんなモノがあること」を知ってもらう・関心を寄せてもらう取り組みを進めます。

STEP 2 来（き）
来訪の呼びかけや周遊ルートの設定、主要施設からの誘導・案内など、実際に来てもらう・見ってもらう取り組みを進めます。

STEP 3 感（かん）
来訪者に資源の価値や魅力、市民との交流やもてなしの心などを感ぜてもらい、感動を生む取り組みを進めます。

STEP 4 また来（き）
来訪者が心に刻まれた感動や思い出を他の人に伝える「庄原ファン」として、また来てもらう・新たな来訪者を招く使者になってもらう取り組みを進めます。

庄原に住んでほしい

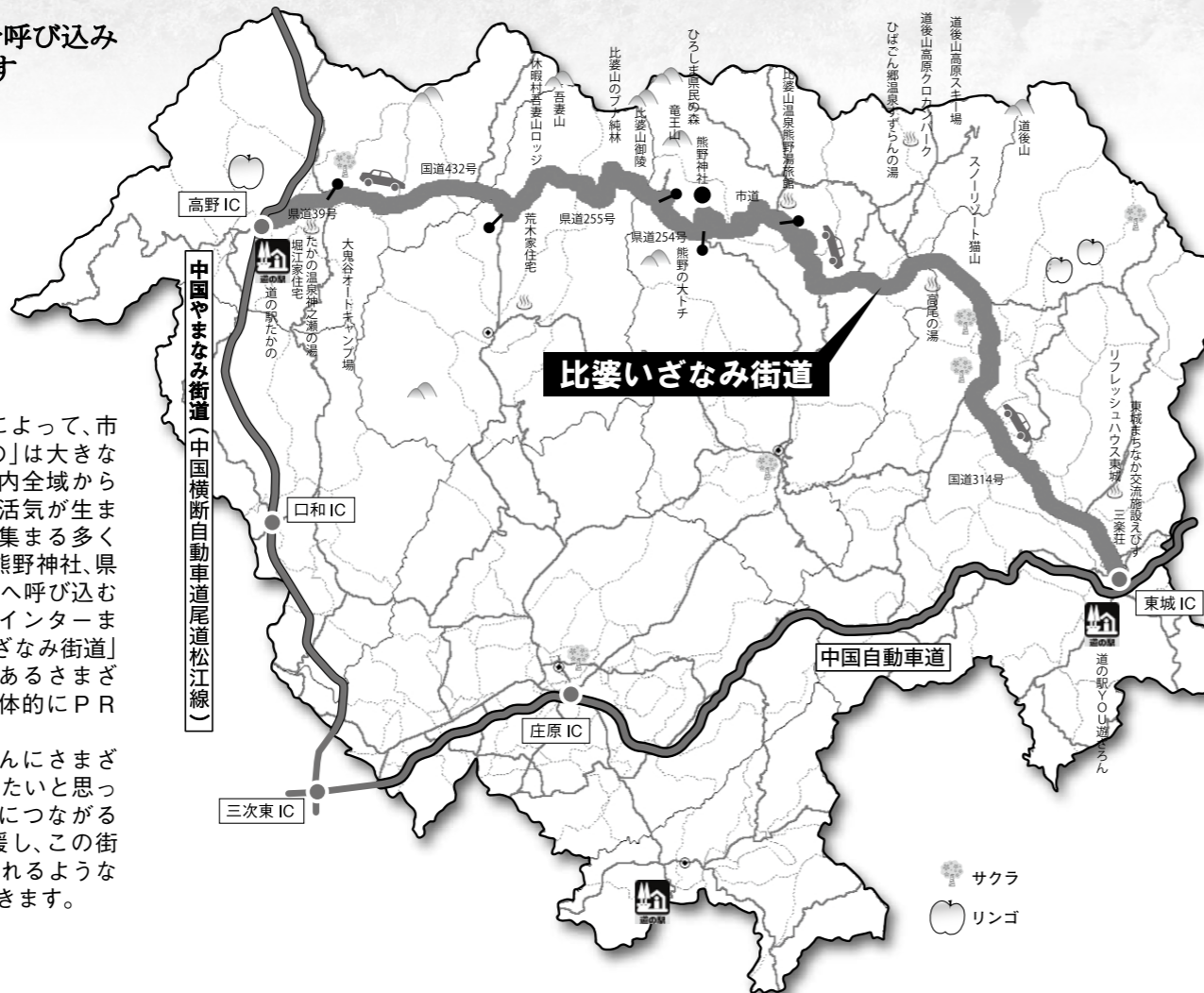
比婆いざなみ街道に人を呼び込み地域の活性化を目指します



木山 耕三 市長

中国やまなみ街道の開通によって、市の北の玄関口「道の駅たかの」は大きなにぎわいを見せています。市内全域から農産物が集まり、かつてない活気が生まれています。こうした高野に集まる多くの観光客を、吾妻山、比婆山、熊野神社、県民の森、道後山、帝釈峡の帯へ呼び込むため、高野インターから東城インターまでの路線をつなげて「比婆いざなみ街道」と命名しました。街道沿線にあるさまざまな資源に再び光を当て、一体的にPRしていきます。

そのためには、地域の皆さんにさまざまなアイデアを出してもらいたいと思っています。定住や6次産業化につながる取り組みにはしっかりと支援し、この街道に人を呼び込み活力が生まれるような仕組みづくりに取り組んでいきます。



比婆いざなみ街道の強み

- 1. 多様な資源が豊富**
自然豊かな山や川、四季の移ろいを感じる風景、農畜産物や森林資源のみならず、太古のロマンが誘う神話・伝説の地、自然体験やウインタースポーツが楽しめる観光資源などに恵まれています。
- 2. 観光振興計画に沿った取り組み**
本市の観光振興計画では、「さとやま遊び（※）で感動を生む観光地域づくり」をコンセプトとし、「山遊び」「花と緑」「食材の宝庫」「ほんもの体験」「さとやま文化」をキーワードとしています。

※「さとやま遊び」とは？
本市の歴史や豊かな自然、暮らし、文化などの「さとやま資源」を楽しむ姿を表現しています。

なぜ今、比婆いざなみ街道なのか？

●中国やまなみ街道開通の追い風に
本年3月22日に全線開通した中国やまなみ街道が、本市の観光振興に大きな追い風となっています。

尾道北インターチェンジから三刀屋インターチェンジ間は無料で通行できることから、多くの人が利用し、平成25年4月にオープンした「道の駅たかの」には連日多くの人が立ち寄っています。市内産品にとことんこだわった売り場づくりで、市内の生産者が意欲的に農産物を出荷。売り上げも順調に推移し、生産者のみならず地域の元気と活力を生んでいます。

しかしながら、利用客の多くが道の駅の利用だけにとどまり、そこから市内へ足を伸ばす人が少ないことから、市内へ誘う仕組みづくりが求められています。追い風が吹いている今、新たに誕生した比婆いざなみ街道がその一歩となります。

大きさ:縦22cm×横20cm

大型スピーカー

ここから音声の放送が流れるんじゃ。

音量調整つまみ

緊急放送はつまみで無音にしても最大音量で放送が流れるんじゃ。

チャンネル切替つまみ

全部で4つチャンネルがあるが、通常は無音で市からの放送があるときだけ放送が聞けるチャンネルが2つ、24時間ラジオ放送が流れるチャンネルが2つ設定されるんじゃ。

点字表示

連絡ボタン

これを押すとあらかじめ設定された連絡先へメールなどが届く。利用方法は市内部で検討中じゃ。

録音ボタン

これを押すと放送を録音できるんじゃ。

再生ボタン

この端末には、流れる放送を最大8件10分間録音できる機能がある。録音があるときは、このボタンが点滅してある。このボタンを押すことで端末に録音されている放送を聞くことができるんじゃ。

●住民告知端末使用申請書受け付け中です
本年度サービスが開始される、庄原電話交換局・東城電話交換局・山内電話交換局管内の整備エリアの皆さんからの申請を受け付けています。申請書は、情報政策課・東城支所総務室へ提出してください。

シリーズ マイナンバー 制度 Vol.3

企画課政策推進係
☎0824-73-1112

今回は、事業者の皆さんへのお知らせです。

マイナンバーの利用(関係書類への記載)が義務付けられる事業者
パートやアルバイトを含む従業員を雇用するすべての事業者が対象となりますので、個人事業主も従業員などのマイナンバーを関係書類に記載することが義務付けられます。

マイナンバーの取り扱いルールを決めておきましょう

●マイナンバーを取り扱う担当者や責任者を明確にしてください。
通常、担当者は給与支払業務の担当者、責任者は、その上司となります。担当者や責任者の指定は、必ずしも個人名の必要はなく、部署名や事務所名

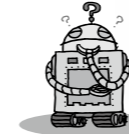
マイナンバーの利用の開始時期

開始時期	平成23年1月1日から	平成29年1月1日から
関係書類(マイナンバーの記載が義務付けられる書類)	●税関係の書類 ●雇用保険関係の書類 ●国民健康保険組合に提出する書類 など	●厚生年金関係書類 ●健康保険関係書類(国民健康保険組合に提出する書類を除く) など

※関係書類への記載前に従業員のマイナンバーの確認(把握)をお願いします。

- マイナンバー制度に関するお問い合わせや出前トークの申し込み
企画課政策推進係 ☎0824-73-1112
- マイナンバー制度に関する詳しい内容のお問い合わせ
総務省マイナンバーコールセンター ☎0570-20-0178(平日9:30~17:30)
- 税関係の届出様式の変更やその他マイナンバーの情報
総務省マイナンバーホームページ
<http://www.cas.go.jp/jp/seisaku/bangoseido/>

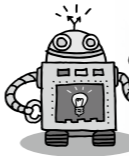
でも可能とされています。
●マイナンバーの利用目的(源泉徴収や健康保険の手続きなど)を従業員に説明してください。
●マイナンバーの保管(記録)・廃棄(消去)方法を定めてください。
※従業員が100人以上の事業者は、明確な基本方針や取扱規程などを策定しておく必要があります。
【注意】マイナンバーは、本人の同意があっても法律で定められた範囲以外での利用や提供が禁止されています。



Q いよいよ住民告知放送がはじまるんですね。改めて博士、住民告知放送について詳しく教えて!



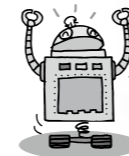
A 市が放送するのは、「緊急放送」、「定時放送」、「臨時放送」の3つを予定している。「緊急放送」は、全国瞬時警報システムによる情報や災害情報、災害予知情報、例えば「避難準備情報」などを放送するんじゃ。緊急の情報じゃから、昼・夜問わず、住民告知端末のボリューム調整に関係なく、最大音量で放送されるぞ。



Q じゃあ「定時放送」はどんな放送なの?



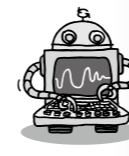
A 「定時放送」は、市からの行政情報、例えば各種申請やイベントなどのお知らせをする。日時は、朝の放送は市役所開庁日の翌日、通常は火曜日から土曜日の6時30分からじゃの。夜の放送は開庁日に放送するので、通常は月曜日から金曜日の20時から放送することになる。



Q へーそうなんだ。市役所からの情報をいつも聞くことができるんだね。それで、「臨時放送」は?



A 「臨時放送」は、定時放送の時間帯以外の時に、すぐお知らせすべき情報が放送される。例えば、火災が発生した場合には、消防団員の参集などの情報を昼・夜なく(※)、地域全域(合併前の旧市町単位の区域)に放送することになるぞ。
※消防団員参集のみ



Q これから台風がやってくる時季にもなるから、防災に関する情報が流れてくると思うと心強いなあ。じゃあ博士、もう一度機能を教えて!



A それでは、主な告知端末の機能を教えるぞ! 操作も簡単じゃから、この機会に覚えておくのじゃ!

住民告知放送 が始まります!!

庄原市に光がやってきました

情報政策課 情報政策係 ☎0824-73-1113
広報広聴係 ☎0824-73-1159

その8

市内全域に整備される光ファイバーの回線を活用して、緊急情報や行政情報をお知らせする「住民告知放送」の実施まで1カ月を切りました。
本年度に光ファイバーが整備されるエリアのうち、庄原地域の庄原電話交換局管内で10月21日から光ファイバーの宅内工事がはじまり、使用申請書を提出しNTT西日本による確認が完了した

世帯・事業所には住民告知端末(放送が聞ける機器)が設置されます。
これにあわせ同日から住民告知放送を開始します。つづいて東城地域の東城電話交換局管内が11月末、さらに庄原地域の山内電話交換局管内が12月末の予定で光ファイバーの宅内工事がはじまり、住民告知放送のエリアが広がっていきます。

10月21日
放送開始!

- ① 保守点検
 - 浄化槽の点検、調整や修理、消毒剤の補充を行います。
- ② 清掃
 - 浄化槽内に溜まった汚泥などの引き抜きや調整、機器類の洗浄を行います。

浄化槽は、トイレや台所などから出る排水を微生物の働きによりきれいにし、川や海に放流されています。そのため、適正な維持管理が行われていないと、悪臭の発生や環境汚染の原因となります。浄化槽の正常な機能を維持し、きれいな水環境を守るために、浄化槽管理者は、保守点検（メンテナンス）、清掃、法定検査を行うよう法律で義務付けられています。

浄化槽の適正な維持管理を

10月は浄化槽月間です

浄化槽は、きちんと使って、きれいな水に

浄化槽は

問い合わせ 下水道課管理係
☎0824・73・1175

③ 法定検査
浄化槽の使用開始から3〜8カ月の間に1回、その後は毎年1回、広島県が指定した検査機関による法定検査を受けなければなりません。法定検査では、外観検査、水質検査、書類検査を行い、機能が正常に維持されているかを確認します。浄化槽がきちんと機能しているかを確認するためにも、必ず法定検査を受けましょう。

※管理者の変更や浄化槽の廃止などがあった場合は、速やかに下水道課または各支所産業建設室・環境建設室に届け出てください。

3つの約束を守ってね
●保守点検 ●清掃 ●法定検査



母子保健 だより

子どものことばの発達

保健医療課健康推進係 ☎0824・73・1255

人間の脳は、①からだの脳②こころの脳③ことばの脳・考える脳と3つの部分順に積み上げられるような構造になっています。「ことばを話す力」を育てるために、「からだづくり」「こころ育て」という土台をしっかり育てることが大切です。

♥ことばを育てる暮らしの工夫
◎生活リズムを整える
早寝早起き、食事や昼寝の時間を一定にします。

◎からだを動かしたり、手を使ったりして十分遊ぶ
脳を刺激し、ことばの発達を促します。

◎気持ち安定している
一緒に楽しく遊んでくれる人がいることが大切です。

◎ものをよく噛んで食べる
よく噛んで口や舌を動かすことが、発音するための準備運動。

◎いろいろな経験を積む
なるべくテレビやスマホに頼らずに、本物に触れましょう。

◎楽しく自然に話しかける

ことばが遅いかなと思ったら

♥ことばの発達には個人差があります
話を良く理解でき、一緒に楽しく遊べる場合は、だんだんことばも増えてくるでしょう。「伝えたい」、「ことばを知りたい」という子どもの気持ちを大切に、笑顔で短く声かけしたり、声かけに動作を添えたりするといいでしょう。

こんな場合は相談してみよう

- ◎ことばが遅く、落ち着きもなくてあちこち走り回る。
 - ◎呼びかけても反応しない。
 - ◎こちらの言っていることを理解しているのかどうか分からない。
- 「乳幼児健診」「育児相談」などの機会や、電話でもお気軽にご相談ください。

相談先

保健医療課健康推進係
☎0824・73・1255
または各支所市民生活室



10月19日(月) ~ 25日(日)は

行政相談週間です

行政相談ってなに？

あなたの毎日の暮らしの中で、国・県・市町村の仕事(行政)に関して、疑問や要望などありませんか。たとえば「道路に横断歩道がなくて危ないので設置してほしい」「困り事があるけど、どこに相談していいかわからない」といったことがあると思います。

総務省の「行政相談」はこのような意見・要望・苦情を解決し、行政の改善につなげていく活動です。庄原市では7人の行政相談委員が相談を受け付けています。秘密は固く守られますので、お気軽にご相談ください。

各地域の行政相談委員と定期相談日・受付時間、相談場所は次のとおりです。
① 自宅電話番号 ② 10月以降の定期相談日
③ 定期相談場所
※都合により、日程を変更する場合がありますので、ご了承ください。
※定期相談日以外にも相談をお受けします。事前に行政相談委員へご連絡ください。

庄原地域

三吉和宏

① ☎0824-72-4837
② 毎月第3木曜日 13時~15時30分
③ 庄原市ふれあいセンター ☎0824-72-7120

kazuhiro miyoshi

西城地域

作田 ユリコ

① ☎0824-82-3048
② 10月15日・12月17日・2月18日 13時30分~15時30分
③ 西城保健福祉総合センター(しあわせ館) ☎0824-82-2202

yuriko sakuda

東城地域

瀧本昌子

① ☎08477-4-0650
② 11月19日・1月21日・3月17日 13時30分~15時30分
③ 東城支所 ☎08477-2-5121

masako takimoto

口和地域

上岡 稔

① ☎0824-87-2868
② 10月22日・2月18日 13時30分~15時30分
③ 口和保健センター ☎0824-89-7070

minoru ueoka

高野地域

井上清憲

① ☎0824-86-2732
② 1) 10月13日・12月8日・2月9日 13時~15時
2) 11月8日 10時~14時
③ 1) 高野支所 ☎0824-86-2115
2) 上高自治振興センター ☎0824-86-2214

kiyonori inoue

比和地域

若林隆志

① ☎0824-85-2698
② 1) 10月15日・12月3日 2) 2月18日 13時30分~15時30分
③ 1) 比和自治振興センター ☎0824-85-2600
2) 比和支所 ☎0824-85-3001

takashi wakabayashi

総領地域

秋山義治

① ☎0824-88-2217
② 毎月第2水曜日 9時~11時
③ 総領健康福祉センター ☎0824-88-3110

yoshiharu akiyama

総務省では、いつでも行政相談を受け付けています

中国四国管区行政評価局(広島市中区上八丁堀6-30 ☎0570-090110〔行政苦情110番〕※)にご相談ください。
※PHSや一部IP電話などでは電話が繋がらないことがあります。その場合は☎082-222-1100へおかけください。
※総務省が実施している相談の電話は、相談内容の正確な把握のため録音されています。

【健診シリーズその3】

特定保健指導、を利用して生活改善を!

生活習慣病健診の結果に『特定保健指導』のご案内が入っていませんでしたか?
今回は、皆さんの生活改善を応援する特定保健指導を紹介し
ます。



山本 尋恵
保健医療課主任保健師

図1 平成25年度特定保健指導利用者の平均体重の推移

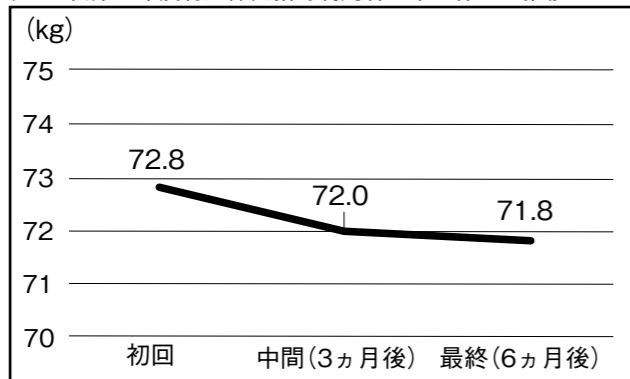
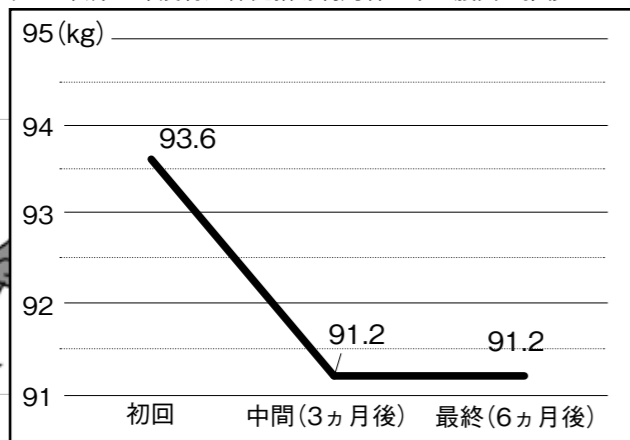


図2 平成25年度特定保健指導利用者の平均腹囲の推移



特定保健指導を利用した結果、データ改善が見えるでしょー!



参加者からの声

毎日、血圧や体重を測るようになった

家事や農作業など、生活の中で動くことを意識した

健康日記をつけるようになり、健康管理がしやすくなった

野菜を先に食べるのが習慣になった

アルコールやタバコの量を減らした

特定保健指導は、健康的な生活を送るための知識や、生活習慣病を防ぐためのアドバイスを受けられる絶好の機会です。自分の健康状態を把握し、より生き生きとした毎日を送られるよう、対象となった方は必ず特定保健指導を受けてください。

内臓脂肪の蓄積により、高血圧・高血糖・脂質異常症などが重複した状態を『メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)』と言います。メタボリックシンドロームは、自覚症状がほとんどないものの、放置すると動脈硬化が進行し、心臓病や脳卒中などを起こす危険性が高まります。

特定保健指導は、このメタボリックシンドロームになる可能性の高い、生

活習慣の改善が必要な方のための保健指導プログラムです。保健師や管理栄養士が6ヵ月、面談や文書などで支援します。あなたの生活状況に合わせて立てた実現可能な目標に向かって、『あなた自身のチャレンジを応援する』ものです。

平成25年度の特定保健指導の結果、利用者の平均体重・腹囲は減少しています(図1、2)。

また、利用した方からは「利用して良かった」との感想も多くあり、特定保健指導をきっかけに、ご自身の健康管理に意欲的に取り組む方がいらっしやるのがよく分かります。

healthy column

●シリーズ 障害を知り、共に生きる●

今月は「依存症」

依存症とは

「高揚感」を得るために、依存している物質(アルコールや薬物など)や行為をやめようとしてもやめられない状態をいいます。依存症には、アルコール・薬物・たばこなどの物質に依存する「物質嗜癖」のほか、ギャンブル・買い物・仕事などに依存する「プロセス嗜癖」などがあります。

依存症は病気であり、治療が必要です。治療の過程では、強い不安・不眠、手の震え、時には幻覚などが生じることもあります。(医療機関では精神療法と薬物療法が行われます。)

こんなことに困っています

○依存症は心や体に変化が起こり、自分自身でもコントロールができない状態です。その物質や行為を中断すると心や体に異常が生じることもあります。

○病気だと理解されにくい障害です。身体的、家庭的、社会的にさまざまな問題を生じさせる依存症は、まだまだ個人の問題だと捉えられ、周囲からは「病気を治療する」という理解を得られないことがあります。

こんな配慮をお願いします
依存症は「意志が弱い」「道徳観が

低い」「家庭環境が悪い」といったもので生じるものではなく、病気です。治療の過程では、家族や周囲の人が依存症について正しく理解をし、関わる必要があります。

●依存症(物質嗜癖)を治療するには、原因となる物質をやめ続ける以外ありません。

例えばアルコール依存症では、お酒を減らしても効果は全くなく、断酒以外に治療できません。しかし、これらを完全に断つことは本人の力だけでは困難で、いかに周囲がサポートできるのかによります。自助グループなどへ参加することも有効な方法です。

アルコール依存症に関しては、断酒をサポートするための自助グループとして、庄原断酒会がありますので、ご相談ください。

庄原断酒会 ☎0824・44・3213

※依存症の方で、この疾患が原因で長期にわたり日常生活や社会生活に支障のある方は、「精神障害者福祉手帳」の申請をすることができます。

治療についても、申請により医療費を軽減する「自立支援医療」に該当する場合がありますので、詳しくは社会福祉課障害者福祉係(☎0824・73・1210)にお問い合わせください。

安心・安全な毎日のために

地震から身を守るために

地震が発生したとき、被害を最小限に抑えるには、一人一人が慌てずに適切な行動をすることが極めて重要です。日頃から地震が発生した際の正しい心構えを身に付けておきましょう。

地震に備えるため

家族で防災会議を開きましょう。

- 1 備蓄品や非常持ち出し品を準備しましょう。
- 2 避難ルートを確認しましょう。
- 3 家具や家電の転倒防止をしましょう。

地震にあったら

丈夫な机やテーブルなどの下にもぐりましょう。

また、頭を座布団などで保護して、揺れが収まるのを待ちましょう。

- 1 突然大きな揺れに襲われたときは、まずは自分の身を安全に守れるように心がけましょう。

庄原消防署
☎0824・72・9911

揺れが収まってからの行動と注意

まずは周囲を確認。身の安全を確保しましょう。


⑤ 切れた電線や垂れ下がった電線には近付かないようにしましょう。

- 2 戸を開けて、出入り口の確保をしましょう。
- 3 慌てて戸外に飛び出さないようにしましょう。
- 4 屋外ではバッグなどで頭を保護し、落下物や窓ガラスが飛び散る場所から安全な場所へ避難しましょう。




なごみま☆ ロショット

小田 おだ
H23年11月28日生まれ
瑛大くん えいだい
(西本町)



父・母：乗りものと昆虫がとっても大好きな瑛くん。力強く、たくましく育ってね。

小田 おだ
H26年1月8日生まれ
彩乃ちゃん あやの
(西本町)



父・母：歌が流れると思わず体が動いてしまう彩乃ちゃん。誰にでも優しくできるように育ってね。

角脇 かどわき
H27年8月3日生まれ
みちるちゃん みちる
(総領町)



父・母：少しずつ表情が出てきたみちるちゃん。どんな女の子になるのが楽しみです。

お子さんの写真を載せてみませんか？
3歳までのお子さんの写真を募集しています。写真(データも可)に、名前(ふりがな)・生年月日・性別・連絡先・子どもへのメッセージを添えて、情報政策課または支所広報担当まで申し込んでください。郵送、メール(koho@city.shobara.lg.jp)でも受け付けます。

まちづくりを進める市民活動登録団体をご紹介します！

市は市内で活動している市民活動団体の登録制度をつくり広く公開しています。市民活動の充実、まちづくりの連携や協働を進めるため情報をお届けします。



NPO法人 マツタケ山再生研究会

活動 マツタケ山の再生、環境整備など
内容 マツタケ山再生を目指し、環境整備や植樹などに取り組んでいます。地域住民や小学生との共同作業も行い、里山への関心を高めるなど地域活性化のため活動しています。

【問い合わせ】 事務局 ☎0824-72-3343

市民活動団体登録をしませんか？
市は随時、登録を希望する市民活動団体を募集しています。詳しくは、自治定住課自治まちづくり係 (☎0824-73-1209)まで。

かんぱれ！ スポーツ少年団

●総領サックス

総領サックスは、総領少年野球部と峰田少年野球の2チームが合併し、チーム発足後2年目を迎えました。現在は総領小学校と峰田小学校に通う児童20人が在籍しています。現在、週3回の練習を通じて技術の向上を図り、野球のみならず普段の生活でもチーム名の由来である「感謝」の気持ちを忘れないチームを目指し、日々活動しています。随時、新入部員を募集しています。練習の見学・体験でも結構です。ご連絡をお待ちしています。連絡先：三浦健司 ☎090-1016-4524



やたがい かずひこ
八谷 和彦さん(小用町)
庄原市出身。32歳。高等専門学校卒業後、10年間東海地方で鉄道会社に勤務したのち平成25年に帰郷。親・子牛含めて取材当時の頭数は乳牛17頭、肉牛8頭。米、野菜もつくる。祖母、両親、妻、そしてネズミ対策として飼っている猫たちと暮らす。

いつか地域に恩返しを
牛を育てる上で大切なことは、カウコンフォート(乳牛が快適に過ごせる環境づくり)です。牛の寝床を清潔にし、

「庄原には黒毛和牛の血統の原点である、比婆牛」があります。また生乳出荷量も県内で一番多く、偉大な土地で仕事ができることを誇りに思っています。現在半分しか埋まっていないう舎を全て活用し、最盛期にぎわいを取り戻したい。子どもたちにはおいしい牛乳を飲んで牛乳を好きになってほしい。牛を軸に地域と連携して農地を保全し、地域を守り、いつか育ててくれた地域への恩返しをすることが目標です」と八谷さんは語ります。

しょうぼうびと

庄原市内のかがやくひとを紹介します

vol.4

呼び水は若い仲間たち
八谷さんは中学校までは庄原で過ごし、高等専門学校で土木を学び、東海地方の鉄道会社に就職しました。10年間、夜間に線路の保全をし、鉄道会社の管内で転勤・引越しを繰り返す生活。休日は郊外の牧場へ行き牛を見たり、車で実家に帰って農作業をしたりしていました。

「そんな中、祖父も、実家を継ぐはずだった弟も亡くなり、一人で切り盛りをするようになった父が畜産業をやめました。ようかと言いました。小さい頃から共に暮らしてきた牛たち。このままやめていいのか悩む八谷さんを地元に戻すきっかけになったのが、同じ町内で頑張っている2人の若い先輩酪農家でした。祖父の代から共同で牧草をつくり、助け合ってきた仲間たちがいることが、八谷さんの支えになったのです。」

地域ぐるみで牛を飼う
現在、小用・高地区にある3農事組合法人・2営農集団と連携し、地域の転作田や遊休農地を活用して、飼料稲、飼料トウモロコシ、牧草をつくって

おがくずや米のもみ殻などでふかふかのベッドを作ると、牛の血の巡りが良くなることで乳もたくさん出るようになり、病気にくくなります。市内の若手酪農家の集まりや、酪農振興会などの研修会で、日々より良い飼育法を模索しています。



どの牛も人懐こく、カメラに興味津々

商工観光課 花と緑のまち・庄原を店先からPR ガーデニングセミナー開催!



齊木さん(左)から寄せ植えを教わる参加者

庄原観光いちばん協議会は9月9日、店舗事業者を対象にしたガーデニングセミナーを国営備北丘陵公園内で開催し、24人が参加しました。齊木義伸さんを講師に迎え、実際に寄せ植えをしながら、苗ごとの特徴から扱い方、寄せ植え後の手入れの方法などを学びました。受講者からは「苗一つ一つの特徴や扱い方を聞くことができたので、今後の手入れに生かしたい。作品は持ち帰って早速、店先に飾りたい」と話していました。秋の庄原もオープンガーデンや丘陵公園の花畑など、花と緑の魅力満載です。本協議会では、今後さらに玄関先や店先から花と緑のまちづくりを推進していきます。

商工観光課 インターネットを活用したPR術を学ぶ WEBプロモーション講座を開催



講演する小田さん

市と市観光協会は8月25日、WEBプロモーション講座を庄原市ふれあいセンターで開催し、27人が参加しました。この講座では、箱根観光サイトなどを手がける(株)カンドウコーポレーション代表取締役の小田英男さんを講師に迎え、今年3月末にリニューアルした「庄原観光ナビ」の有効活用を含め、自社のホームページの改善や効率的なWEBプロモーションのヒントとなる事例などを学びました。受講者は「WEBを活用したPRの方法がすべて良かった。早速、庄原観光ナビへの登録や、自社ホームページの改善に取り組んでいきたい」と話していました。庄原観光ナビの活用について興味をお持ちの方は、庄原市観光協会(☎0824・75・0173)にお気軽にご連絡ください。

商工観光課 地域ブランド戦略を学ぶ 観光地域づくり講演会



平戸ブランド化戦略の取り組みを紹介する久富さん

庄原観光いちばん協議会主催の「観光地域づくり講演会」が9月3日、食彩館しょうばらゆめさくらで開催され、46人が受講しました。この講演会では、長崎県平戸市職員の久富大輝さんが、平戸ブランド戦略的プロモーション事業の取り組みを説明。福岡都市圏や関西、関東に流通拠点を設け、生産者と行政が一体となって取り組んだ商品開発から流通・物販までの仕組みづくりや、ふるさと納税額日本一につなげたカタログギフトの舞台裏などが紹介されました。参加者は「大きな刺激を受けた」「地域ブランド化に向けて関係者が一丸となって取り組むことが必要だと感じました」と話していました。

商工観光課 商品開発のポイントを聞く 逸品料理スタートアップセミナー



料理メニュー開発のポイントを紹介する平山さん

庄原観光いちばん協議会は8月27日、地元農畜産物を使用した庄原ならではのグルメを開発するための「逸品料理スタートアップセミナー」を庄原市ふれあいセンターで開催し、22人が受講しました。講師でフードコーディネーターの平山友美さんが、最新の食の情報や交えながら、肉料理やスイーツメニューの開発ポイント、人気メニューや食の流行について分かりやすく説明。講演後の質疑でも具体的なメニュー開発に関する質問が出され、内容の濃いセミナーとなりました。今後は、専門家による個別指導を実施するなど、新たなメニュー開発の取り組みを支援し、逸品づくり事業を進めていきます。

商工観光課 大相撲「庄原場所」来秋開催決定! 日本相撲協会と覚書を締結

大相撲の秋巡業「庄原場所」が来年10月26日、庄原市総合体育館で開催されることが決まりました。開催に向け8月28日、日本相撲協会の武隈親方(元前頭筆頭蔵玉錦)が来庁し、木山耕三市長と覚書を交わしました。「庄原場所」は庄原市ふるさと大使でタレントの西田篤史さんなどが誘致に協力し、実現する運びとなりました。当日は、力士約260人が出場する予定で、取組に加え、握手会や子どもとの稽古なども計画されています。



覚書を交わす武隈親方(左)と木山市長

武隈親方は「最近相撲人気に戻ってきた。お客さんに喜んでもらえるよう頑張りたい」と抱負を述べました。今後市や市体育協会、商工団体などが12月頃実行委員会を設立し、開催に向け準備を進めます。

自治定住課 まちづくりのヒントを学ぶ まちづくり実践セミナー

今回は、東城地域で取り組まれている「木の駅プロジェクト」をテーマにした研修が行われ、まず、同プロジェクト事務局の門野淳記地域おこし協力隊員がこれまでの経過や仕組みについて概要を説明し、間伐材や林地残材を地域通貨「里山券」に換え、この券を利用して買い物ができるシステムが定着しつつあり、木材の出荷量が今後増加する見込みであることを報告しました。続いて表良則実行委員長が講演



講演する表良実行委員長



木の出荷場で詳しい説明を聞く参加者

し、プロジェクトの課題や今後の取り組みについて、「補助金に頼らない自立した仕組みづくりを考えなければならぬ」と次への目標を語りました。その後、参加者は木の出荷場所(土場)や里山券の取扱店舗を見学。「自分の地域でも木の駅を取り組みたい」「収益事業として地元根付き、地域の活性化につながる」と感じたという声がかれるなど、今後他地域での実践が期待されます。



前人未到の記録達成に地元沸く!

No.6

谷繁選手兼任監督が通算出場記録を更新

庄原市市民栄誉賞を受賞しているプロ野球中日ドラゴンズの谷繁元信選手兼任監督が、7月28日の阪神タイガース戦で、野村克也氏が持つプロ通算出場記録を塗り替える3018試合に出場し、歴代単独1位となりました。

谷繁選手兼任監督は、平成元年にドラフト1位で横浜大洋ホエールズ(現横浜DeNAベイスターズ)に入団。1年目の出場から足掛け27年、44歳での達成となりました。

これを受けて東城町の谷繁元信後援会では、記念横断幕とポスターを作製。後援会の金本順二会長は「偉業達成を、町を挙げて喜びたい。同級生としても誇りに思う」と話していました。



▲記録更新を祝う横断幕。ポスターを手に記録更新を喜ぶ金本会長

比和の宝を守り続ける

No.8

希少な花ヒゴタイ

比和町三河内の慶雲寺の参道途中の丘で、盆花(ほにばな)として親しまれているヒゴタイの花が、8月中旬から下旬にかけて見頃を迎えました。

ヒゴタイは絶滅危惧Ⅱ類に分類されている希少な花で、瑠璃色の小さな筒状の花が集まって、花径5センチほどのボールのような花を咲かせます。毎年咲く季節になると多くの方が見学に訪れます。

保護活動に取り組んでいるヒゴタイの会の藤原群三さんは「今年はここ10年の中でも最も多くきれいに咲いた。比和の宝とも言えるこの花を、この先もずっと守り続けていきたい」と話していました。



▲ヒゴタイ

自分の思いを言葉に込め発表

No.5

備北地区中学生意見発表会・8/20

備北青少年健全育成連絡協議会が主催する備北地区中学生意見発表大会が庄原市ふれあいセンターで開催され、庄原、三次両市の中学校計19校から38人が参加しました。

生徒は250人の聴衆を前に、自ら決めたテーマをもとに自分の考えを5分程度にまとめて発表。部活動や家族、地域のことなどについて幅広い意見が発表されました。

岩本和さん(東城中3年)は「大勢の前で、自分の意見を発表するのはとても緊張しましたが、同じ中学生のさまざまな思いの込められた発表を聴くことができ、勉強になりました」と話していました。



▲参加者全員で記念撮影

親子で減塩料理にチャレンジ

No.7

おやこの食育教室・8/31

高野町食生活改善推進員協議会主催による「おやこの食育教室」が、高野福祉保健センターで開催され、高野保育所園児12人とその保護者が参加しました。

この教室は、調理体験を通じて食べ物を選ぶ力や豊かな感性を培い、子どもの頃から減塩に取り組むことを目的に開催されたものです。今回は、減塩できる調理方法を学びながら、親子で高野産の野菜を使った減塩オリジナルスープなどを作りました。

参加した保護者は「子どもに新しい体験をさせることができて良かった。家族で食生活について考える良いきっかけになった」と話していました。



▲包丁で野菜を切る子どもたち

地域防災力向上を目指す

No.2

庄原市総合防災訓練・8/30

平成27年度庄原市総合防災訓練が西城球技場周辺一帯で実施され、官公署をはじめ、庄原市赤十字奉仕団、西城自治振興区など8団体、約300人が参加しました。

非常に強い台風の襲来により、市内各地で被害が発生しているという想定のもと、避難所開設訓練、建物火災防ぎょ訓練、県防災ヘリコプターも飛来しての救援物資受け取り訓練、負傷者搬送訓練が行われました。

炊き出しの体験や、各種被害に対する一連の動き、関係機関との連携のとり方などが再確認され、参加者一人一人が真剣に取り組んでいました。



▲救助訓練の様子

戦争体験を語り継ぐ

No.4

戦後・原爆70年の集い・8/22

総領自治振興区・市戦没者遺族会総領支部による「戦後・原爆70年の集い」が開催され、44人が参加しました。

これは、新聞報道などで市が主催する戦後70年の巡回パネル展開催を知った町内の方が、戦死した父親の遺品を同自治振興区へ持参し、戦争への思いを語ったことをきっかけに企画されました。

集いでは、平成元年に総領中の生徒が被爆した方々を取材し製作した「原爆体験記」の朗読や参加者が自らの戦争体験を語り合う戦争体験懇談などが行われました。

参加者は「戦争の悲惨さと平和の尊さを再認識した」と話し、戦争体験を語り継ぐ貴重な機会となりました。



▲持ち寄られた遺品などを観覧する参加者

ふるさとの魅力を発見

No.1

西城中総合学習・9/10

地域おこし協力隊員の森岡愛さんが、西城中学校の総合学習の取り組みで講師を務め、生徒36人が授業を受けました。

授業は、普段暮らす西城町の魅力を発見することをテーマに行われ、まず、森岡さんが西城町内のさまざまな取り組みを紹介しました。その後、生徒たちがそれぞれ感じる西城町の魅力をグループ討議し発表しました。

「自然が自慢だ!」「住む人々が優しくて魅力的!」といった、生徒たちが普段感じている思いが意見として飛び交い、郷土愛あふれる50分間となりました。



▲グループ討議の様子

子育ての大変さを実感

No.3

口和中生徒が乳幼児とふれあい体験・9/11

口和中学校の3年生18人が、家庭科の授業の一環として保育所入所前の0~4歳児8人とふれあう体験学習を行いました。

生徒は、母親たちと一緒に遊んだり、抱いたりして乳幼児とふれあうと、その後、母親たちが校内を見学している間、生徒たちだけで乳幼児を預かりました。

ところが、母親がいなくなったとたん乳幼児は泣き出し、抱っこをしてあやしてもなかなか泣き止まない状況に生徒も困惑。終了後は、「赤ちゃんと遊んで楽しかったが、泣かれるとどうしていいかわからず困った。親の大変さが分かった」と息をついていました。



▲乳幼児とふれあう生徒

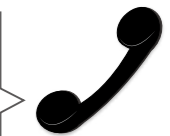
母子保健事業 ●保健医療課健康推進係 ☎0824-73-1255

Table with 5 columns: 事業名, とき, ところ, 持ってくるもの, 備考. Rows include 母子手帳交付, パパママひろば(妊婦教室), 離乳食教室, 育児相談.

あなたの相談をお受けします

※日程は都合により変更になる場合があります。詳しくはお問い合わせください。

悩みごと、心配ごと、お困りごとなど、お気軽にご相談を



Large table listing various consultation services (各種相談) with columns for 種類, とき, ところ, 備考, 問い合わせ. Includes categories like 定期巡回相談, 人権相談, 行政相談, 法律相談, etc.

催し・講座

第15回こどもまつり

家族みんなで楽しめるふれあいとあそび体験いっぱいイベントを開催します。子育てを応援する市内の団体が力を合わせて、「地域のみんなと一緒に子育て」のメッセージを発信します。

第33回ふれあい東城まつり

東城地域最大のふるさと祭りです。地域の文化活動団体による「ふれあいステージ」や、南一誠・クリスタルキング(ムッシュ吉崎)のライブステージ、子ども神楽やお楽しみ抽選会などバラエティに富んだプログラムをお楽しみください。

第33回西城ふるさと祭

2年に一度開催される、西城地域の一大イベントです。会場内には、各団体の展示・屋台テントが並び、市内外の

東城文化ホール 問い合わせ

ふれあい東城まつり実行委員会(東城支所産業振興室内) ☎08477・2・5008

東城まちなみぶらり散歩 ギャラリー

城下町の風情を色濃く残す東城町のまちなみ約600メートルが、期間限定で丸ごとギャラリーになります。商店や民家には各家に伝わるお宝や絵画、手芸品などが並び、まちかどには茶屋が開かれます。

庄原市エゴマ推進大会

エゴマの生産拡大と普及を目的に庄原市エゴマ推進大会を開催します。県立広島大学名誉教授の武藤徳男さんによる講演や、庄原市エゴマ生産普及協議会会員による事例発表などを行います。エゴマの生産、消費に興味のある人の参加をお待ちしています。

お通り

江戸時代に地域の祈とうと五穀豊穡を願い、町内をご神体(みこし)が巡り歩いたことが始まりとされる伝統行事です。大名、武者、華童(はなわらべ)からなる行列に山

問い合わせ

庄原市エゴマ推進大会実行委員会(農業振興課農業振興係) ☎0824・73・1132

第49回庄原市西城町美展

絵画・書・工芸・写真・生け花などの美術展覧会。小・中・高校生の生徒の作品も展示します。

とき 10月17日(土)～19日(月) 9時～18時※19日は12時まで

ところ 西城自治振興センター 西城自治振興センター 0824・82・2175

長野ヒデ子「絵本原画展」&「おはなし会」

絵本作家、長野ヒデ子さんの「絵本原画展」と「おはなし会」を開催します。

長野さんは「とうさんかあさん」で絵本日本賞文部大臣賞受賞。「ねこのたいそう」などの紙芝居を手がけ、絵本では「おかあさんがおかあさんになった日」「せとうちたいこさん・デパートいきタイ」などで知られています。

●絵本原画展 「イナバのしろうさぎ」紙芝居の原画 とき 10月17日(土)～23日(金) 9時～17時

ところ 東城自治振興センター

おはなし会

「絵本と紙芝居 おもしろさとそのちがひ」

とき 10月19日(月) 14時～15時15分

ところ 庄原市東城文化ホール 問い合わせ 東城教育室 08477・2・5111

時悠館秋の特別展

●富士原一恵日本画展 本年の新作「流れ」(F100号)ほか20点を展示します。

とき 10月17日(土)～11月29日(日) 9時～17時

ところ 時悠館 入館料 高校生以上400円 問い合わせ 時悠館 08477・6・0161

シネマ楽笑座

「陽のあたる坂道」 石原裕次郎、北原三枝が主演する日活映画(1958年)を上映します。

とき 11月7日(土) 10時～14時

ところ 楽笑座多目的スペース(庄原市西本町2・1・10) 料金 大人500円、子ども

300円 問い合わせ

楽笑座

0824・72・8285 0824・73・1178

文化講演会

日中韓の比較を通して今日の日本を考える講演会を開催します。

とき 10月18日(日) 14時～15時30分

ところ 庄原市民会館 講師 金文学さん(比較文化学者、文化評論家)

演題 日本人へのメッセージ 問い合わせ NPO法人明るい社会づくり運動広島県備北協議会 0824・55・3420

募集

オリジナルナンバープレート希望者募集

庄原市オリジナルデザインの新付バイク、農耕用作業車のナンバープレートの希望者を募集します。

対象 主な定置場が庄原市にある原付バイク(50cc以下)、農

グランプリ・コンサート2015



恒例となったグランプリ・コンサート。毎年、大阪室内楽コンクール&フェスタで優勝したグループを招いています。今年、第2部門ピアノ三重奏優勝のトリオ・ラファール(スイス)を招いて開催します。トリオ・ラファールは、2008年に結成。これまでメルボルン国際室内楽コンクールで優勝するなど、主要なコンクールで数々の賞を受賞しています。現在、ヨーロッパをはじめ、世界中で演奏の場を広げている若手ピアノ三重奏団の演奏をどうぞお楽しみください。多くの皆様のご来場をお待ちしています。

とき 11月5日(木) 18時30分開演(18時開場) ところ 庄原市民会館 入場料 一般1500円(当日1800円) 全席自由 ※市民会館友の会会員の方は10%割引。(庄原市民会館での購入に限る。) ※小中高校生は無料(整理券が必要です。) ※未就学児の入場はご遠慮ください。 ※無料の託児サービスをご利用ください。(要予約) 前売り券販売所 庄原市民会館、ジョイフル、ザ・ビッグ庄原店、食彩館しょうばらゆめさくら、ウイル西城、東城自治振興センター 問い合わせ 庄原市民会館 0824-72-4242 生涯学習課社会教育係 0824-73-1188

申し込み・問い合わせ 申し込みは、料金を提供すること、周遊と消費を促し、地域経済の活性化を図ることを目的に制作しています。この改訂に伴い、新たに掲載を希望する飲食店舗を募集します。 対象店舗 市内に住所を有する飲食を供給する店舗(例:食事処、カフェ、パン屋など) 申し込み方法 申し込み用紙に必要事項を

ご記入の上、郵送、持参またはメールで10月30日(金)までにお申し込みください。 申し込み用紙は商工観光課や市ホームページに設置しています。 申し込みにあたっては、料理写真1枚と店舗写真1枚の計2枚の写像が必要です。画像データはメールでお送りいただくか、USBメモリーなどに入れてご持参ください。

申し込み・問い合わせ 0824・63・1896 FAX 0824・63・1897

その他 ペレットストーブ等購入促進補助金の利用を 市は環境に優しい木質バイオマスの利用促進を図るため、ペレットストーブ、薪ストーブおよびペレットボイラーの購入に対して補助金を交付しています。 対象経費 ストーブ・ボイラー本体の購入・設置・配管に係る直接的経費 補助額 ◆ペレットストーブ・薪ストーブ:対象経費の3分の1。上限額12万円。 ◆ペレットボイラー:対象経費の3分の1。上限額50万円。 注意点 本年度中に補助金を受けられるのは、平成28年3月末までに購入および設置の完了が可能な方に限ります。申請は早めにお願ひします。 問い合わせ 林業振興課木質バイオマス係

「買い物しすぎて支払いができない...」「携帯代が高く生活費が足りない...」「計画的にお金が使えない...」 こんなことはありませんか? 今回の当事者のつどいのテーマは「お金」です。悩みや困り事を出し合い、安心して就労、生活する手立てを考えましょう。気軽にご参加ください。 とき 10月19日(月) 13時30分 ところ 「ラウンジ笑花」 三次市十日市東5丁目13-10 対象 生きづらさを抱えている方とその家族・障害者の就労に携わっている支援者。 お茶代 100円 申し込み方法 電話・FAXでお申し込みください。 申し込み・問い合わせ 0824・63・1896 FAX 0824・63・1897

0824・73・1130

庄原市 B1234 農耕用作業車のデザインも決定しました!

一人でも悩まないで まず相談してください。 業務のご案内 ●不動産の名義変更 ●成年後見 ●相続登記・遺言 ●会社の登記 ●借金の整理 ●簡易裁判所訴訟代理等 ●詳しくはホームページに書いています。 庄原 司法書士 検索 司法書士 飯田 一生 広島北部司法事務所 (新設代理権認定第524014号) (広島司法書士会所属) (司法書士登録番号026号) 〒727-0013 広島県庄原市西本町四丁目20番17号 ハルナシュB2階 TEL.0824-72-2315 (要予約)

「この社会あなたの税がいきている」 ーインターネットで申告・納税できるー 利用推進運動中 http://www.e-tax.nta.go.jp e-Tax (国税電子申告・納税システム) 公益社団法人 庄原法人会 めざます よき経営者による 正しい納税で 企業の繁栄と社会への貢献 〒727-0011 広島県庄原市東本町1-2-22 (庄原商工会議所会館内) TEL.0824-72-1889 (FAX兼用) HP: http://www10.ocn.ne.jp/~shk/

国営備北丘陵公園 だより

100品種、約90万本のコスモスコレクション 備北公園「秋まつり」開催中！ 10月18日(日)まで毎日開園！

※10月11日(日)は無料入園日
※駐車料金も無料

備北公園管理センター ☎0824-72-7000 (<http://www.bihoku-park.go.jp/>)



音楽と花火の祭典



100品種・90万本のコスモス

コスモスと100万本の秋の花々が負けてくれない

花の広場いっぱい咲き誇るドワーフセンセーションや、花びらが八重咲きや筒状になっていたり、わり咲きの品種のコスモスをご覧いただけます。 ※天候によって開花状況が変わることがございます。

音楽と花火の祭典

ミュージシャンのライブと打ち上げ花火2000発による音と光の祭典。

10月11日(日) 18時 開演
19時30分 花火打ち上げ
10月11日(日) 18時 開演
19時30分 花火打ち上げ
10月11日(日) 18時 開演
19時30分 花火打ち上げ
10月11日(日) 18時 開演
19時30分 花火打ち上げ

大人(高校生以上)1500円、小人(小中学生)500円、幼児無料
※雨天決行
※当日券あり
お問い合わせ
グリーンウインズさとやま
☎0824・72・7211



こどもまつり

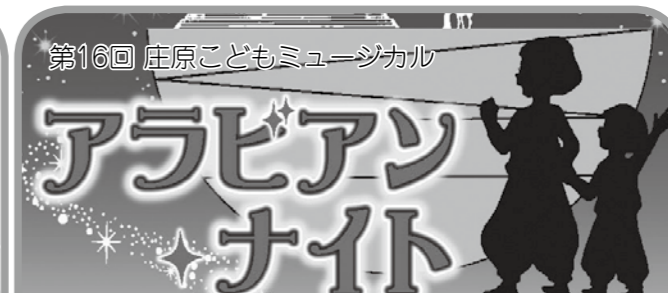
第15回こどもまつり

きくちレイコさんの歌のステージ、乗馬体験、動物ふれあい体験などイベント盛りだくさん！
10月18日(日) 10時~14時
北入口エントランスセンター 国兼

森の感謝祭

森の恵みを使ったワークショップや作品の展示発表会などを行います。ノルディックウォーキングも開催！
10月31日(土)
いこいの森

※「秋まつり」の詳細は、電話または公園ホームページにてお問い合わせください。



子どもたちが個性豊かに創りあげた舞台を通して、「生きる喜び」を伝えます。皆さんのご来場をお待ちしています。

●とき 11月1日(日)
第1公演 13時30分~15時(開場13時)
第2公演 16時~17時30分(開場15時30分)
●ところ 庄原市民開館 大ホール
●入場料 1,000円(全席自由、未就学児以下無料)
●チケット販売所
ジョイフル、小池書店、庄原市民会館、マツダスタジアム、サングリーン三次、庄原市西城保健福祉総合センター(しあわせ館)、児玉医院(川北町)、庄原・三次市内の中国新聞販売所、廣文館サングリーン三次店・フレスタ三次店、CCプラザ
●問い合わせ
庄原こどもミュージカル実行委員会 ☎090-2006-6982



湯崎英彦の地域の宝 チャレンジトーク
湯崎知事が庄原市を訪問し、地域活動をしている人のお話を伺いながら、将来にわたって「広島に生まれ、育ち、住み、働いて良かった」と心から思える庄原市、広島県の実現に向けて皆さんと考えます。

●とき 11月7日(土) 13時30分~14時40分(開場13時)
●ところ ウイル西城2階ホール(庄原市西城町大佐741-1)
●定員 150人(事前申し込み不要)
●内容 湯崎英彦県知事のあいさつ、地域住民の方(4組)による挑戦の取り組みの発表があります。
●問い合わせ
広島県庁広報課県民対話グループ ☎082-513-2378
庄原市情報政策課広報広聴係 ☎0824-73-1159

立広島大学市民公開講座「暮らしの安心と安全を見つめる」
とき・内容
◆第1回 11月4日(水)「生活の中の空気環境」講師 西村和之教授
◆第2回 11月10日(火)「地球温暖化の影響」講師 原田浩幸教授
◆第3回 11月17日(火)「放射線から身を守る」講師 加藤一史教授
◆第4回 11月25日(水)「牛乳の安全性」講師 津田治敏准教授
※各回10時40分~12時10分
ところ 県立広島大学庄原キャンパス1202・2202
募集定員 80人(受講無料)
申し込み・問い合わせ
生涯学習課社会教育係
☎0824・73・1188
☎0824・73・1254
就労支援プログラム
就職や安定した就業生活をめざす障害者を対象に、研修会を開催します。就職するための準備や、仕事を続けるための要点、接遇マナーなど就労に役立つポイントを学んでみませんか。
とき ※3日間同じ内容
①11月5日(木) ②11月19日(木)

広島県最低賃金は、平成27年10月1日から
時間額 769円です。
詳細は、
広島労働局労働基準部賃金室(☎082-221-9244)
三次労働基準監督署(☎0824-62-2104)
までお問い合わせください。

③12月3日(木)
三次市福祉保健センター(三次市十日市東3-14-1)
対象 障害があり、現在未就労で就職を希望する方
申し込み方法
電話またはFAX
申し込み締め切り ※各回で締め切り日が異なります。
①10月29日(木) ②11月12日(木) ③11月26日(木)
問い合わせ
備北障害者就業・生活支援センター
☎0824・63・1899
☎0824・63・1897

広告 知らないと損! 知らないともっと損!! の 過払い金請求
「過払い金」とはあなたが知らずに払い過ぎた利息のこと。過払い金は簡単な手続きで戻ってきます。あなたがするのは「やくも」に電話をかけるだけ! あとは全てやくもにお任せ下さい!

いつでも受付中! 0120-892-095 (9:00~21:00 土・日・祭日も可)
女性専用ダイヤル 0120-892-195 (9:00~18:00 平日)
やくも 司法書士 法務事務所
司法書士 石井徳樹 (鳥取県司法書士会所属 認定番号第612012号)
米子市加茂町2丁目180番地 国際ファミリープラザ608号 TEL.0859-30-4242
※司法書士法第3条1項の範囲内に限ります。※手続きを依頼される場合は費用が発生します。※紛争の価額が140万円以下のものに限りま

全日本杖道大会 (10月11日/神戸市)
●初段の部 河原 敬太(庄原中2年)
●二段の部 松村 征良(庄原格致高1年)
●七段の部 河原里香子(板橋町)
小林 利吉(西木町)
※「あっぱれ! 庄原」に該当する方の情報は、情報政策課 広報広聴係(☎0824・73・1159)までお寄せください。
第70回国民体育大会 (9月27日~30日/和歌山県那智勝浦町)
●レスリング(成年男子フリースタイル125kg級) 迫 昭人(田原町)
●レスリング(少年男子グレコローマンスタイル 96kg級) 山中 彬(広島国泰高2年・東城町)
あっぱれ! 庄原 全国レベルの大会出場者、全国・県レベルの大会市が共催する各種大会などの上位入賞者を掲載します。(敬称略)
全国大会

人の動き (庄原市の人口)
平成27年8月末現在

[住民基本台帳登録人口]
人口 37,756人 (前年比-745人)
男 17,865人 (前年比-351人)
女 19,891人 (前年比-394人)
世帯数 15,879世帯 (前年比-97世帯)
[うち外国人] 人口 337人 (前年比+23人)
[各地域の内訳]
○庄原地域 18,649人 (7,901世帯)
○西城地域 3,716人 (1,486世帯)
○東城地域 8,360人 (3,702世帯)
○口和地域 2,150人 (825世帯)
○高野地域 1,921人 (694世帯)
○比和地域 1,512人 (634世帯)
○総領地域 1,448人 (637世帯)

献血のご案内
保健医療課 ☎ 0824-73-1155

献血を次のとおり実施します。
400ml 献血限定ですので、皆さんのご協力をお願いします。

Table with columns: 実施日, 会場, 受付時間. Includes dates like 11月5日(木) and locations like J A庄原本所.

休日診療のご案内

10月・11月の休日診療については、次のとおりです。
●庄原市休日診療センター
診療日：日曜・祝日・年末年始 (12/30～1/3)
☎診療日 ☎0824-72-9900
診療日以外 ☎0824-73-1155 (保健医療課)

Table with columns: 日, 施設名, 電話番号. Lists clinics like 三上クリニック and 越ぶしの里病院.

広報日記

▶12 ページでご紹介したとおり、光回線を使った告知放送が、今月下旬から庄原地域の一部でスタートします。庄原地域の方は音声告知放送になじみがないと思いますが、行政情報を得られる機会が確実に増えますし、便利さを感じていただけるものと期待しています。よりよい運用のため、ぜひ多くの声をお寄せください。
▶近年、牛の飼料にするため、稲わらを白いラップで包んだ「ホールクロップサイレージ」という物体が、稲刈り後の田んぼにごろごろと置いてある光景をよく見かけます。水稲や畜産の農業者同士が互いに支え合い、農業の振興に取り組んでいる証ですね。

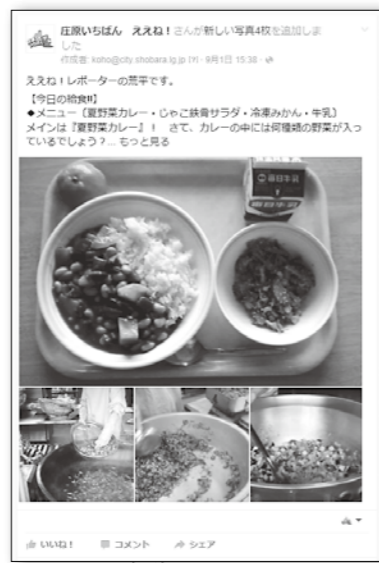
食育コーナー
圃教育総務課 ☎ 0824-73-1186

本市の学校給食の今をお届けします
～フェイスブックページで発信中～

子どもたちの日常生活の一部となっている学校給食は、栄養バランスのとれた豊かな食事を提供することはもとより、生産者などのご協力により得られる、新鮮でおいしい地元食材を生かした行事食や郷土食を献立に取り入れるなど、地域の農業や食文化を知ることができる場になります。



庄原中学校配食風景



8月31日の投稿

こうした学校給食への興味、理解を深めてもらうきっかけとして、2学期から市公式フェイスブックページ『庄原いちばん ええね!』を活用し、本市の学校給食情報を発信しています。

この中では日々の学校給食献立・食材選定などへの栄養士の思いや給食調理に対する調理員の思い、調理風景、子どもたちの給食時間の様子など紹介しています。

現在、週2回程度情報を発信していますが、今後、より新鮮な情報発信に努めていきます。皆さんからのご意見・ご感想をお待ちしています。

Facebook page graphic for '庄原いちばん ええね!' with QR code and URL: https://www.facebook.com/shobara.ichiban

Advertisement for 'あなたの不安な気持ちをお話ください' (Let's talk about your worries) from the Shobara City Child Welfare Center.

時悠館 ☎ 08477-6-0161
開館:9時～17時 休館:水曜(祝日開館・翌日休館)・年末年始

帝釈寄倉岩陰遺跡



写真は、東城町帝釈未渡にある寄倉岩陰遺跡の遠景です。遺跡は帝釈峡の入り口近く、帝釈川の左岸にあります。時悠館の前身である帝釈郷土館や収蔵庫のそばを通り、遺跡に向かう途中で1975年ごろに撮影したものです。写真では、遺跡の前に収穫前の稲や大豆が実る田んぼが広がっています。

寄倉遺跡は1963～66年に発掘調査が行われました。帝釈峡遺跡群の中でも最大規模の岩陰遺跡で、幅20m・奥行き6mの範囲から遺物が出土しています。縄文時代早期(今から約7,000年前)から弥生時代・古墳時代に及ぶ13の文化層が明らかになっています。

また、縄文時代後期後半(約3,000～3,500年前)の全国的にも例が少ない二つの改葬(再葬)人骨群が見つかります。成人を中心とした人骨群(22体分)と小児を中心とした人骨群(24体分)で、後者は遺跡中心部に設けた保存区の中にも入り、総数は30体以上と推測されています。寄倉遺跡は土器をはじめとする縄文文化全般の変遷が明らかになるとともに、多数の人骨が良好に保存されているなど、石灰岩地域の岩陰・洞窟遺跡の特色を示す遺跡として、1969年に国指定の史跡となりました。

写真の田んぼは今は無く、遺跡の周りはイチョウなどの木々が大きく成長し、夏の緑濃い時期には遺跡の岩壁も隠れてしまうほどです。紅葉の時期にはまた違った姿が見られます。寄倉遺跡に暮らした縄文人たちは、季節や環境の変化をどう見ていたのでしょうか。

ロビーコンサート
圃生涯学習課 ☎ 0824-73-1188

とき 10月26日(月) 12時15分～55分
ところ 市役所1階市民ホール
出演者 野口美紀 (オカリナ&アコーディオン)
Terako (オカリナ&三線)
演奏曲目 「コンドルは飛んで行く」「里の秋」「赤とんぼ」ほか
▶野口美紀・・・ドミニカ共和国国立劇場、カンボジアの小学校訪問演奏など、国内外で幅広く活動。子どもから大人まで楽しめるステージを求めて自作による物語と音楽のライブを行う。
▶Terako・・・医療、福祉分野に関わりながら、音楽がもたらす免疫力の向上、脳の活性化などを確信。オカリナ講師、演奏活動を行いながら、独自の音楽療法を研究中。

市民ギャラリー「アート多愛夢」
情報BOX (西本町二丁目1番21号)

市街地の空き店舗を活用した、各種展示ができる市民ギャラリーです。

陶芸教室作品展
とき 11月7日(土)～9日(月) 10時～16時
圃庄原市文化協会事務局 ☎ 0824-72-5453
商工観光課商工振興係 ☎ 0824-73-1178
※展示を希望される団体(または個人)はお申し込みください。使用料は要りません。

食彩館しようばら
ゆめさくら ☎ 0824-75-4411

10～11月のイベント情報
▶ゆめさくら講座

- かずら教室
①竹で作る犬の花入れ ②竹の花入れ
とき 10月16日(金) ①9時30分～12時 ②13時30分～15時30分
参加費 ①2,100円 ②1,300円
定員 ①②各15人
○草木染め教室(Tシャツを染めよう)
とき 10月26日(月) ①9時～12時 ②13時～15時30分
参加費 4,900円
定員 ①②各12人
▶展示・イベント
○ゆめさくら秋まつり
とき 10月17日(土)・18日(日) 両日とも14時～
日ごろの感謝を込めて、新米のおむすび、つきたて餅、きのこ汁を振る舞います。 ※餅つきは17日のみ
○児童牛乳ポスターコンクール作品展
とき 11月5日(木)～16日(月)

しょうばら九日市

毎月9日は、しょうばら九日市
★出店者募集中! あなたのお店を開こう。
★毎月20日が出店申込締め切りです。
★申し込みは楽笑座内九日市事務局
☎ 0824-72-8285 まで
とき 11月9日(月) 9時～13時
ところ 中本町・まちなか広場周辺(のほりが目印)
詳しくはHPで http://kunchi-ichi.jp/information.html

市税・水道料金・下水道使用料
納付は口座振替が便利です

手続きは各金融機関の窓口でお願いします。残高確認も忘れないでください。
●税務課収納係 ☎ 0824-73-1145
●下水道課管理係 ☎ 0824-73-1175
●水道課業務係 ☎ 0824-73-1197

乗りんさい

芸備線



VOL.21

平子駅〜備後西城駅

現在開業から81年目を迎えている平子駅〜備後西城駅間。このコーナーで度々登場している区間ですが、庄原市内を走る芸備線の中でも、特に印象に残る場所なのかもしれません。街から、山から、車窓から、鉄道を楽しむ視点はさまざまです。



▲県道 57 号線から西城の町並みを望む (平成 27 年 8 月 7 日撮影)

たまたま車を走らせていた県道から、夕日に照らされた西城の美しい街並みが見えました。手前には芸備線の線路。時計を見ると、少し待てば平子駅からの列車が見られる時間。車を止め、スマートフォンのカメラを起動して待ちました。

近づく音。木々の間から現れる一両のディーゼルカー。一瞬、夕日に照らされ西城の街と溶け合うように。

そして、ゴトゴトと走り去っていきました。そのひと時、西城に無くてはならない美しい情景がありました。

今村 俊洋 (西城町)

応募方法

庄原市内の鉄道路線に思わず乗ってみたくなる乗車エピソードやスポット情報を募集しています。写真と説明文(100文字程度)乗車体験記(200字程度)を郵送またはメールでお送りください。

応募先

〒727-8501
庄原市中本町一丁目10番1号
庄原市情報政策課広報広聴係
☎0824-73-1159
メール koho@city.shobara.lg.jp

庄原の食材を扱うお店を応援します!

比婆の里 モビィ・ディック

登録第49号店

所 西城町平子648-14
☎ 0824-82-2155
営 10:00~16:00
休 正月休みのみ
HP -



取り扱う市内産食材 野菜・米



●店主の徳永泰臣さんに聞きました

なぜ、地産地消推進店に登録しようと思ったのですか?

知り合いに登録を勧められたということもありますが、地元の野菜やお米を使った料理を皆さんに食べていただきたいと思ったからです。

お店の推進店としてのこだわりは?

秋には松茸・香茸など、春には春の山菜などを中心に季節感を出すように心がけています。

皆さんへ一言

おいしい自家製チーズケーキ、ワッフルなどを食べながらゆったりとした時間をお過ごしください。



▲地元野菜のポークカレー

『庄原市地産地消推進店』に登録しませんか? 市は随時、地産地消推進店を募集しています。詳しくは、保健医療課健康推進係(☎0824-73-1255)まで。